

第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等
業務委託における公募型プロポーザル審査について

令和7年5月

第 66 回全国国保地域医療学会事務局

第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等
業務委託における公募型プロポーザル審査について

第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等業務委託における公募型プロポーザル審査に
関しては、次のとおりとする。

1 審査の対象となる事業者

- (1) 別途定める「第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等業務委託における公募型プロポーザル募集要領」（資料 3）（以下「募集要領」という。）の規定を満たす参加者
- (2) 募集要領に規定する期限内に、必要なすべての書類を適正に作成し、提出した参加者

2 審査のポイント ※詳細は別紙「審査項目」参照

- (1) 企画提案のコンセプトが明確で魅力的か。
- (2) 委託業務の目的を理解し、実現への強い意欲が感じられるものになっているか。
- (3) 関係機関や事務局と連携して円滑に作業が進められる人員・体制が確保されているか。
- (4) 共同事業者又は再委託先が存在する場合は、その役割分担が明確にされているか。
- (5) 委託業務が円滑かつ効率的に企画され、委託料の見積額も妥当であるか。

3 業者選定委員会

(1) 開催日時、場所

日時／令和 7 年 7 月 16 日（水）13：30～

場所／愛媛県松山市高岡町 101 番地 1

愛媛県国民健康保険団体連合会（国保会館 2 階 第 1 会議室）

(2) 選定委員

選定委員は 5 人とし、別途定める審査基準に基づき審査を行う。

(3) プレゼンテーション

- ① プレゼンテーションの時間等は別途募集要領に定める。
- ② 各提案者のプレゼンテーション終了後、質疑の時間（10 分程度）を設ける。

4 選定の方法

- (1) 業者選定委員会では、提案者から提出された書類とプレゼンテーションに基づき審査を行う。
- (2) 各選定委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別途定める審査基準に基づき評価を行い、その結果を評価表に記入する。
- (3) 全てのプレゼンテーションが終了した後、各選定委員が採点した点数を集計し、合計点数が最も高い者を最優秀提案者とする。ただし、最高点の者が複数となった場合は、選定委員の協議により選定する。
- (4) 選定後、最優秀提案者と愛媛県国民健康保険団体連合会は、企画提案書の内容を基にして、業務

の具体的履行条件などの協議と調整（以下「交渉」という。）を行う。この交渉が整ったときには、契約の手続きに進むものとする。

第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等
業務における公募型プロポーザル審査基準・審査項目

第 66 回全国国保地域医療学会に関する企画運営宿泊等業務委託における公募型プロポーザルの企画提案書の審査及び審査項目は次のとおり（選定委員 1 人につき、満点は 100 点）とする。

《審査基準》

審査事項	審査基準
1. 実績	今学会に類似した全国規模の学会及び大会の業務受託について、十分な実績があるか。 ・開催回数、開催規模、参加者数等
2. 理解	本会が提示する企画運営宿泊等委託業務の趣旨を理解し、具体的かつ現実的な企画提案がなされているか。 ・学会の運営全般や関係する業者との連携 ・シングルルームを中心に松山市内のホテルの確保など
3. 工程	業務実施手続きを示す業務フロー及び工程表等は妥当であるか。 また、ひと目でわかり、具体的に示されているか。
4. 実現性	学会運営の効率化に繋がる魅力的な提案がなされ、その実現性が明確に示されているか
5. 体制	学会を運営するための業務体制が明確であるか。 また、トラブル発生時に、迅速且つ的確な処理が期待できるか。 ・コールセンター等の設置 ・適切な人数の配置、指示系統が示されているか。 ・マニュアルの作成等、対策が具体的に示されているか。 ・感染症の拡大等、不測の事態に対応した運営が考慮されているか。
6. 費用	見積金額が仕様書提示の範囲内であり、経済性のある金額となっているか。また、見積金額について、提示した業務規模と大きくかけ離れていないか。
7. プレゼンテーション	企画と説明内容に整合性があり、説得力があるか。 ・プレゼンテーションは分かり易く、容易に理解できるか。
	豊富な知識と情報を持っており、質問に対する応答は明確であるか。 ・質問に対し、迅速且つ的確に回答ができるか。
	業務を実施する上でのコミュニケーション能力があるか。 ・本会、関係者等との連絡・調整をする能力はあるか。
8. 全体	全体を通して、総合的に評価する。

※ 見積価格が予定価格を上回ったものは失格とする。

※ 業務コストの妥当性

見積額について、提示した業務規模と大きくかけ離れている、若しくは提案内容に対して見積が不適切な場合には選定しない。

※ 基準点数未満の取り扱い (※基準点数＝(各選定委員の持点)×(選定委員数)×50%) 基準点数に満たない場合は、水準に満たないものとして契約に至らないものとする。